

文-22

疑問詞 + か...肯定

疑問詞 + か

Vます

基 本

例 文

① A: 冬休みふゆやすにどこかいへ行きましたか。

B: はい。北海道ほっかいどうへ行きました。

② A: 何かなに食べたませんか。

B: ええ、食べたましょう。

③ A: あそこあそこにだれかだれかいます。

B: (人ひとががいるにののにに気きがつついて)

あ、田中たなかさんです。

④ A: あそこあそこに何かなにあります。

B: え、どこどこですか。

解 説

A. 「疑問詞 + か」は、不特定ふとくていの対象たいしょうや時とき、場所ばしょを表す。(例文①②③④)

B. 助詞じょしは、「疑問詞 + か」の後あとにつく。(例文①)

C. 「疑問詞 + か」が「がが(主語しゅご)」(p.104 参照)や「をを(対象さんしょう)」(p.38 参照)を伴ともなうことばとして使つかわれるとき、「がが(主語しゅご)」と「をを(対象さんしょう)」は省略しょうりゃくされる。(例文②③④)

先生へ

「疑問詞 + か」の後あとに、「N」「A + N」「AN + N」をつけて、「疑問詞 + か」の対象たいしょうとなるものを限定げんていすることができる。

例 1 何かなに冷つめたいもののが飲のみたいです。

2 いつか暇ひまなときえいがに映画いに行いきましょう。

「あの人ひとがだれかだれかわかりますか」の「だれか」とは用法ようほうが違ちがう。

「が」と「を」が省略しょうりゃくされない場合ばあいもあるが、学習者がくしゅうしゃが混乱こんらんするのでここでは教おしえない方ほうがよい。

【関連項目】

文-23 疑問詞 + も...否定

【「れんしゅう編」の練習】

7-3 旅行の思い出